

# 新型コロナウイルス感染防止のための龍谷大学「研究活動」にかかる行動指針

2020.5.28

レベル	研究活動	研究出張（海外を含む）	研究会等
レベル4	在宅において研究活動を行う。ただし、機器装置・試薬類等の維持管理、実験動植物等の世話など、研究機能の最低限の維持を目的とした、必要最小限の教育職員のみの一時的入構を許可する。	全ての研究出張は、中止または延期する。	全ての研究会等の開催は、中止または延期する。 ・ Web会議ツールを活用した研究会等の開催を推奨する。
レベル3	可能な限り在宅において研究活動を行う。ただし、重要かつ緊急に実施すべき実験・研究を目的とした、必要最小限の学内における研究活動を許可する。研究室関係者の学内での滞在時間は可能な限り削減する。 ・ 学生の入構は原則禁止とする。	出張の可否については、危機対策本部会議の決定に則する。 海外出張については、原則として中止または延期する。	研究会等の開催は、原則として、中止または延期する。 ・ Web会議ツールを活用した研究会等の開催を推奨する。
レベル2	感染拡大の防止に最大限の注意をしたうえで、学内での研究活動時間を可能な限り削減する。可能な研究活動は在宅で行うように努める。	流行地域（海外を含む）への出張は、原則として中止または延期する。流行地域（海外を含む）以外への出張は、感染拡大の防止に最大限の注意をしたうえで、行うこととする。 なお、海外出張については、外務省海外安全ホームページの海外渡航情報において、渡航先が「感染症危険情報」のレベル2以上に指定されている場合は、渡航を延期・中止する。また、同情報でレベル1に指定されている場合においても、現地の状況を確認し、渡航予定の変更を検討する。	不要不急の研究会等や「3密」を伴う研究会等は原則として行わない。ただし、開催する場合には、感染拡大の防止に最大限の注意をしたうえで、行う。
レベル1	感染拡大の防止に最大限の注意をしたうえで、ほぼ通常通りの活動を行う。	感染拡大の防止に最大限の注意をしたうえで、行う。	感染拡大防止に最大限の注意をしたうえで、行う。
レベル0	通常通り	通常通り	通常通り
レベルの相当判断をする際に参考とする国・自治体等の基準		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政府による近畿各府県への「緊急事態宣言」の状況</li> <li>・ 近畿各府県の「外出自粛要請」（都道府県を跨ぐ移動自粛を含む）の状況</li> <li>・ 近畿各府県の「大学への施設使用制限」の状況</li> <li>・ 近畿各府県の「イベント開催自粛要請」（大規模イベントの自粛等）の状況</li> <li>・ 近畿各府県の独自指標による基準（例：京都府「注意喚起」の発出等）の状況</li> <li>・ その他（社会情勢や他大学状況など）</li> </ul>	